



都市整備

日本一住みやすいまちづくりを目指して

廣瀬 政和 議員

Q 平成27年度当初予算において、特徴的なものや特に力を入れている事業は何なのか。また、現在進めている新幹線を活かしたまちづくりは、20年、30年先の大村市の方向性を決める大事業であると思うが、予算を通して見える本市の未来像はどうか。また、大型事業が続く中、今後の本市の財政見通しはどうか。

A 平成27年度当初予算については、子育てと高齢者に対する支援の更なる充実を目指して予算の重点配分を行った。また、本市の将来像については、7年後に迫った新幹線の開業は大きな転換期になると思っており、ソフト、ハードにわたり新幹線を活かしたまちづくりを展開し、日本でもっとも住みたくなるまちを目指す。また、今後の財政見通しについては、社会保障費や普通建設事業費等が年々増加することにより、基金の取り崩し額が増加するため、より健全な財政運営が必要になると考えている。

都市再構築戦略事業

1105人

古閑 秀幸 議員

Q 国土交通省の新たな事業である「都市再構築戦略事業」において、大村市を含む全国で11市が採択された。この採択を受け、市長のこれからの取組みについて尋ねる。

A 都市再構築戦略事業の今後の取組みについては、将来の市街地整備に関する方針や事業内容などを記載した立地適正化計画^{（※）}を策定する必要があるため、平成26年度から28年度までの3力年で策定する。

注1：市町村が都市全体の観点から作成する、居住機能や福祉・医療・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実等に関する包括的なマスタープラン

新幹線新大村駅（仮称） 周辺整備事業

水上 亨 議員

Q 新幹線新駅周辺整備について、は、昨年、周辺地域まちづくり計画が策定され、基本計画等の設計が進められているところである。開業にあわせた整備事業の今後の予定と、「事業完了まで自分がやるんだ」といつやる気のある若

手職員の希望を酌んだ職員配置等に配慮するべきである。また、「県立ろう学校」移転計画の進捗状況についても尋ねる。

A 新幹線新駅周辺整備事業の今後の予定は、平成27年度に東西アクセス道路等の都市計画の決定、28年度には事業認可の申請を行い、区画整理事業による整備を実施する計画である。また、職員配置については、適材適所に十分注意を払っていきたい。また、県立ろう学校の移転計画の進捗状況については、平成30年春の開校を目指し、基本設計等を実施する業者選定が行われ、今月中に契約を締結し、設計に着手することとされている。

景観も楽しめる 山田の滝の整備を

伊川 京子 議員

Q 市の中心部から近く昔から市民に親しまれてきた山田の滝は、最近では斜面の岩が不安定になっていて、安心して上まで登れない状況にある。ウォーキングコースとしても適しており、景観の面からも整備が必要と考える。県との協議を含めた取組み状況と今後の整備の可能性、また安全対策についてどのように考えているのか。

A 山田の滝の環境整備については、砂防公園としての整備を検討しているが、今後大型事業が相次ぐことから、財政的な理由により進んでおらず、当分の間は困難だと考える。しかし、山田の滝は歴史的価値のある場所と認識しており、特に山田神社から滝つぼに通じる散策道路は厳しいため、再調査し、危険箇所の安全対策を図っていきたく考えている。



行財政・一般

まち・ひと・しごと 地方創生総合戦略について

北村 貴寿 議員

Q 総合戦略にはPDCAサイクルや目標数値等の高い精度が求められる。庁内だけで議論せず、幅広く策定委員を公募するべきである。また、大村市にもパッションフルーツの移動式緑化等のインベションの塊のような産品がある。これらを高消費地へ向け販売するための支援はできないのか。まずは、東京にある県のアンテナショップや大村市東京事務所に設置してはどうか。

A 総合戦略の策定委員については、民間の意見や提案等を用